

第4章 | 「投資家への壁」を探る1万人アンケート

第1節 投資前・投資後の意識と実態

投資前の意識と実態

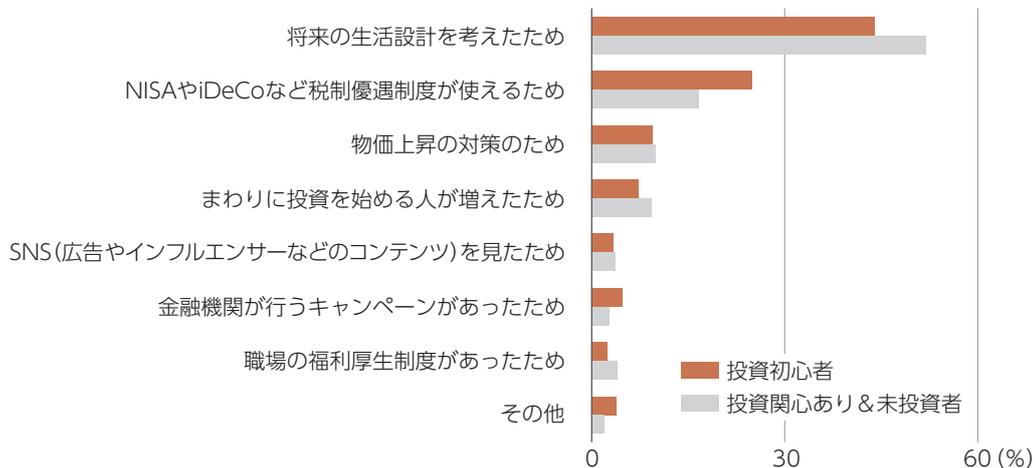
調査概要

大和アセットマネジメント資産運用普及センターが実施したアンケート調査の概要

調査目的	投資初心者と投資に関心のある未投資者の様々な差を把握することで「投資家への壁」を明らかにし、個人が投資を始めるために必要な要素を分析する								
調査方法	インターネット調査								
調査地域	日本国内在住(全国)								
調査対象	20-79歳の男女個人 ※関連業種(金融業界、市場調査、マスコミ、広告代理店)の従事者を除外								
有効回収数	10,948サンプル								
調査時期	〈スクリーニング調査〉2025年9月17日(水)～9月22日(月) 〈本調査〉2025年9月26日(金)～9月29日(月)								
ウエイトバック	有								
サンプル数内訳			20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
	投資初心者 (従業員持株会以外で 2020年以降に 投資を開始した人)	男性	545 (612)	763 (575)	845 (445)	819 (359)	442 (315)	213 (154)	5,692 (3,894)
		女性	262 (244)	398 (292)	441 (264)	405 (237)	323 (206)	236 (191)	
	投資関心あり&未投資者 (投資に対する関心度 (7段階)で上位3つに 該当する人)	男性	479 (687)	497 (669)	644 (840)	578 (769)	222 (298)	140 (189)	5,256 (7,054)
		女性	567 (787)	565 (754)	672 (883)	558 (736)	209 (274)	125 (168)	
	<small>*本調査では投資の定義を、従業員持株会以外の投資性商品(株式、債券、投資信託、外貨預金、FX、暗号資産、金など)を保有していることとする *2020年度国勢調査結果をベースに加齢したデータの「性別×年代(10歳刻み)」構成比に準拠したスクリーニング調査での「投資初心者/投資関心あり&未投資者」×「性別」×「年代(10歳刻み)」構成比に合うように有効回収サンプルに対してウエイトバック集計を実施 *上段:有効回収サンプル数 下段:ウエイトバック後のサンプル数 *以降のページではウエイトバック後のサンプル数を使用(投資初心者:n=3,894、投資関心あり&未投資者:n=7,054)</small>								
投資への関心度			とても 関心がある	関心がある	やや 関心がある	どちらとも いえない	あまり 関心はない	関心はない	まったく 関心はない
	投資初心者		26.2%	28.9%	29.9%	10.4%	3.6%	0.8%	0.3%
	投資関心あり&未投資者		8.6%	21.5%	69.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

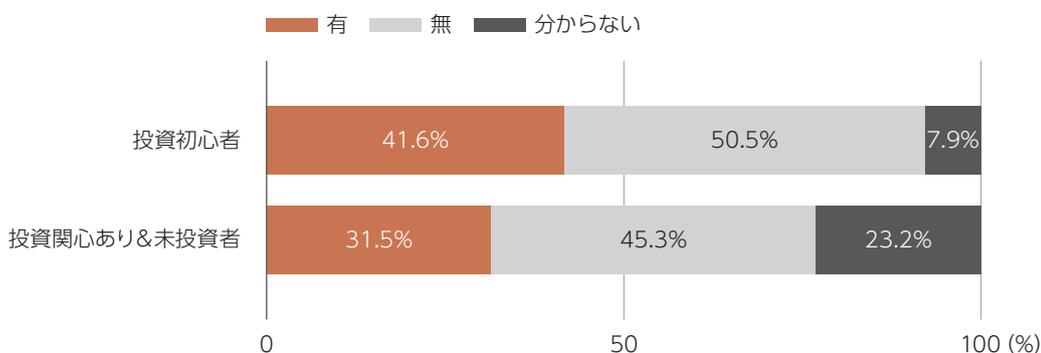
(出所)大和アセットマネジメント

投資に興味・関心を持った最大のきっかけ



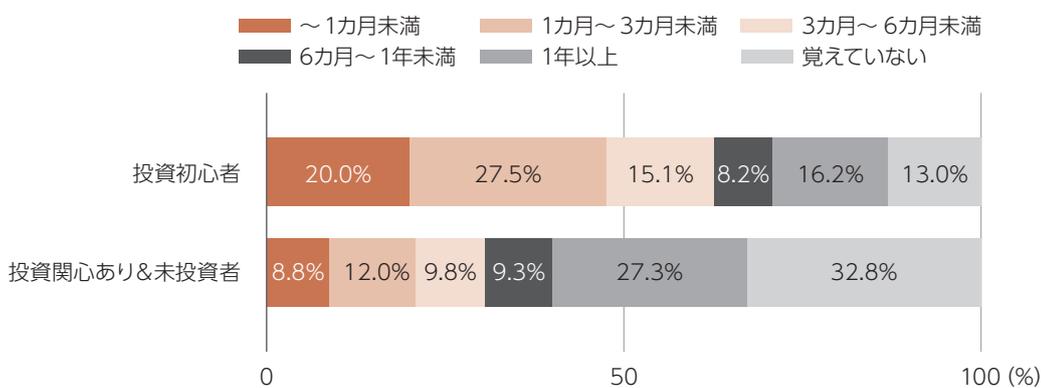
(出所)大和アセットマネジメント

家族内投資者の有無



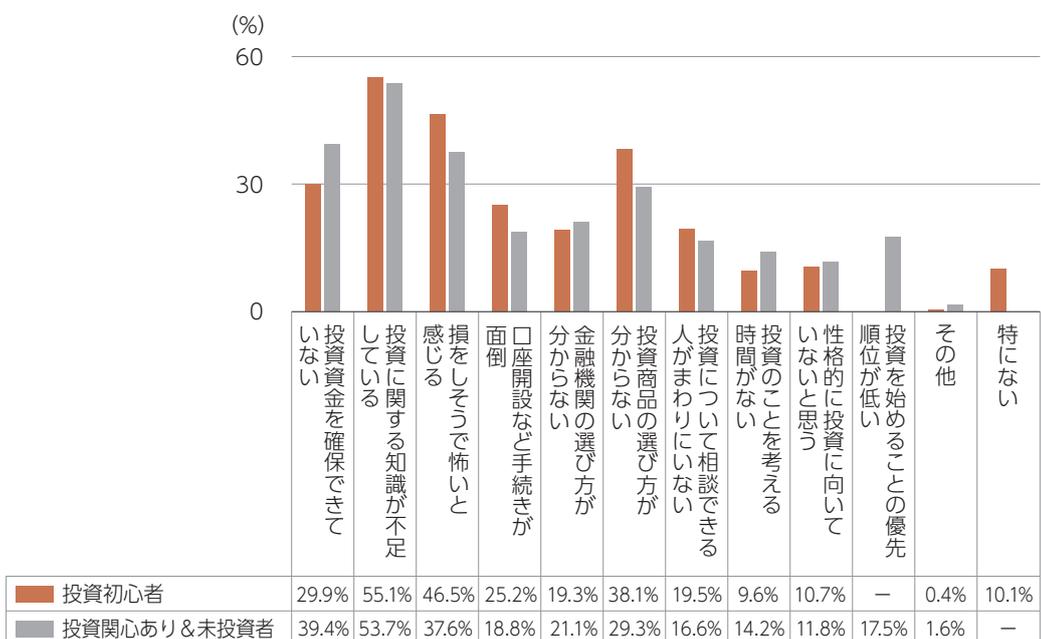
(出所)大和アセットマネジメント

投資について検討した期間



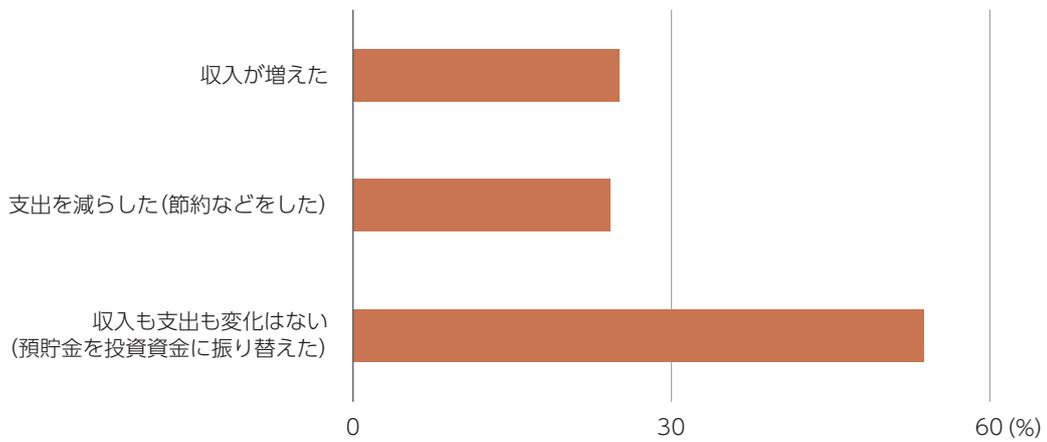
(出所)大和アセットマネジメント

投資を始める前の抵抗感・障壁/投資をまだ始めていない理由



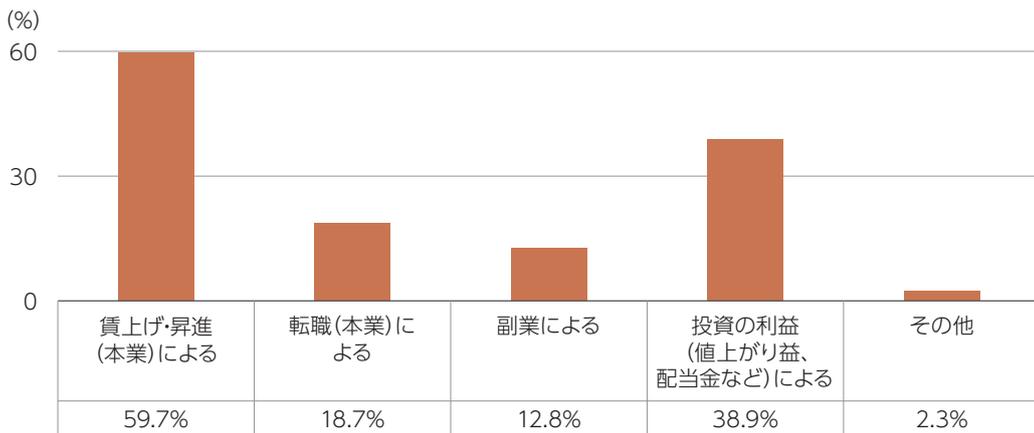
*複数回答可
(出所)大和アセットマネジメント

■ 投資資金を確保するための収入・支出の変化(投資初心者)



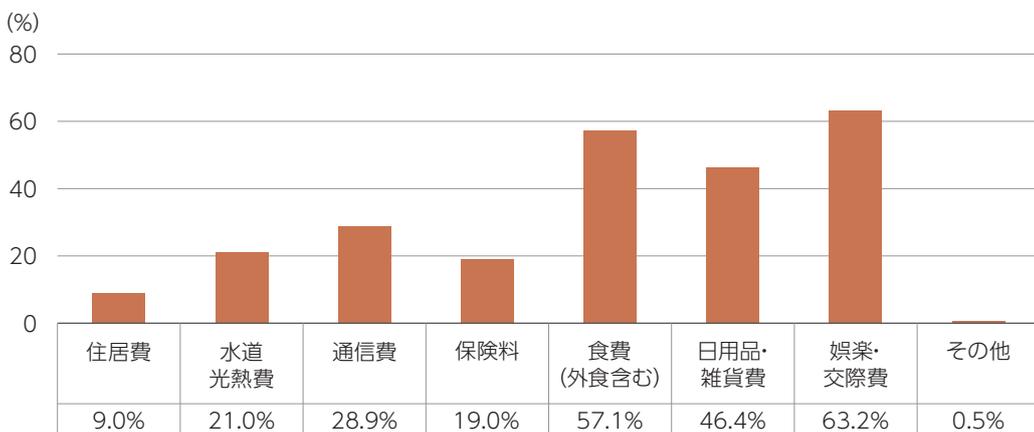
*複数回答可
(出所)大和アセットマネジメント

■ 収入増加の要因(投資初心者)



*複数回答可
(出所)大和アセットマネジメント

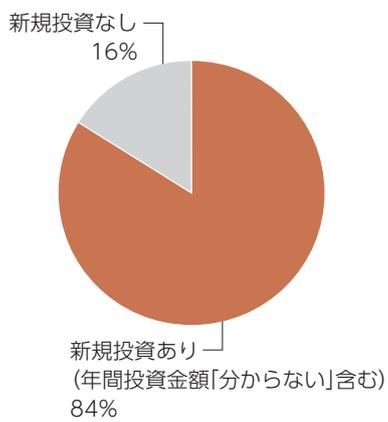
■ 支出を減らした費目(投資初心者)



*複数回答可
(出所)大和アセットマネジメント

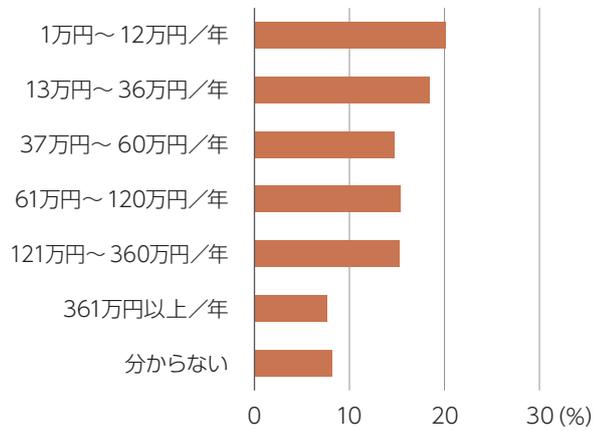
投資後の意識と実態

2024年の新規投資の有無 (投資初心者)



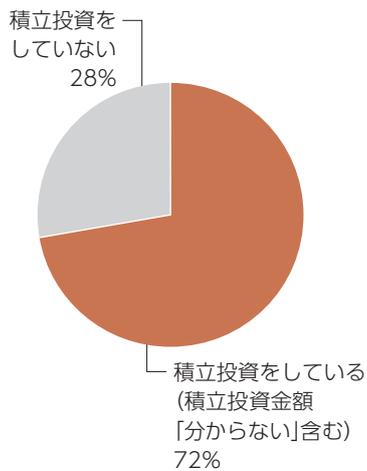
(出所)大和アセットマネジメント

2024年の投資金額 (投資初心者のうち、新規投資あり)



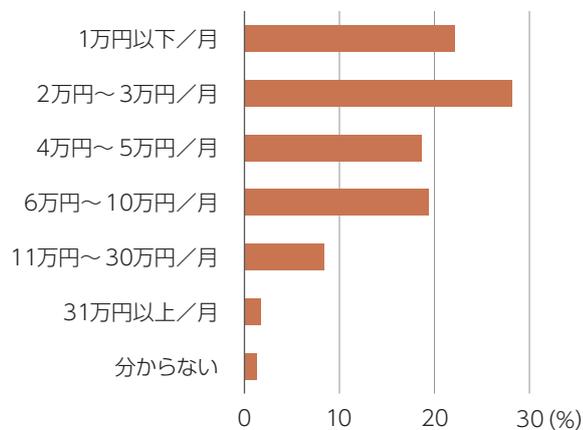
(出所)大和アセットマネジメント

毎月の積立投資の有無 (投資初心者)



(出所)大和アセットマネジメント

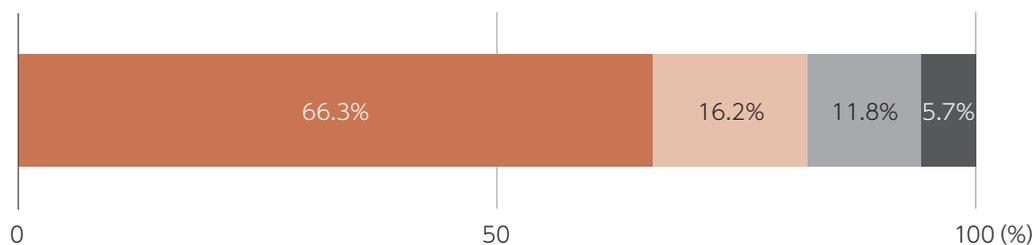
毎月の積立投資金額 (投資初心者のうち、積立投資をしている)



(出所)大和アセットマネジメント

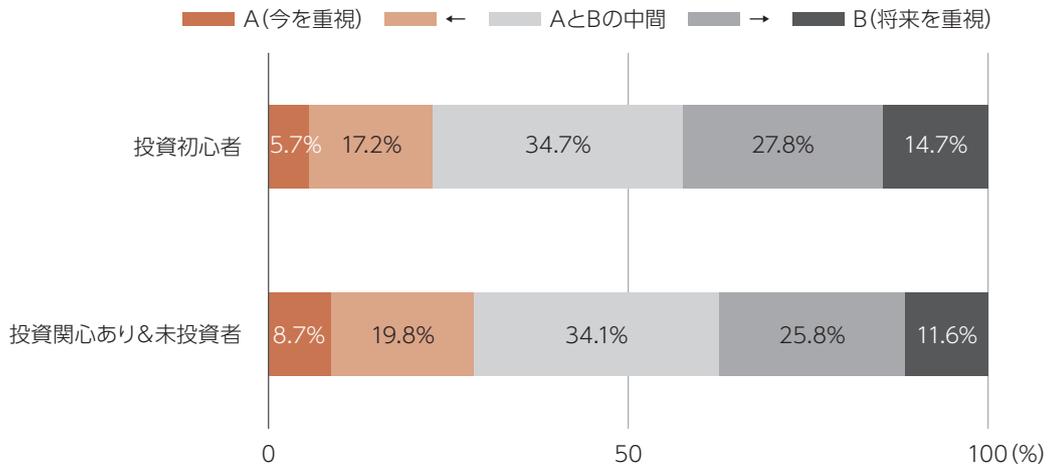
現在の投資の経済的・心理的負担の有無 (投資初心者)

- 足元経済的に無理がなく、今後投資を続ける上で心理的に無理がない
- 足元経済的に無理はないが、今後投資を続ける上で心理的に無理がある
- 足元経済的に無理はあるが、今後投資を続ける上で心理的に無理がない
- 足元経済的に無理があり、今後投資を続ける上で心理的に無理がある



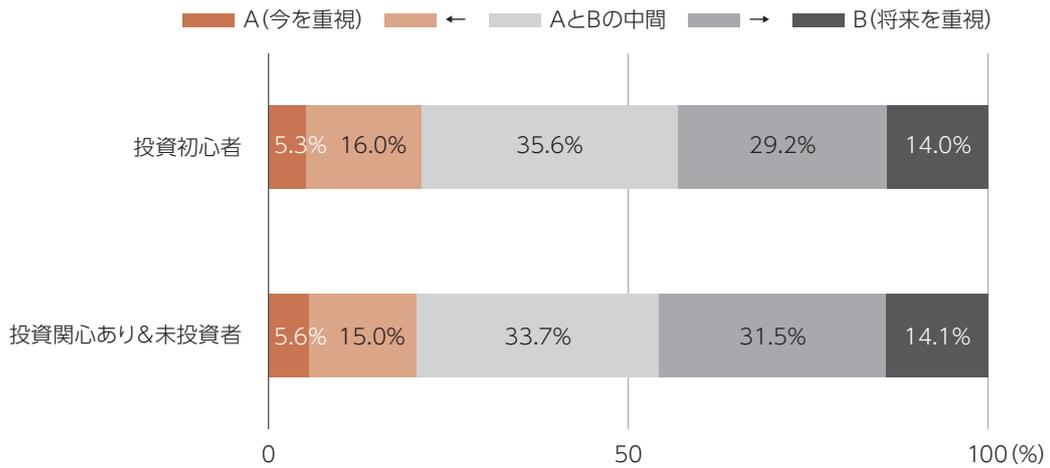
(出所)大和アセットマネジメント

■ 現在のお金の使い方



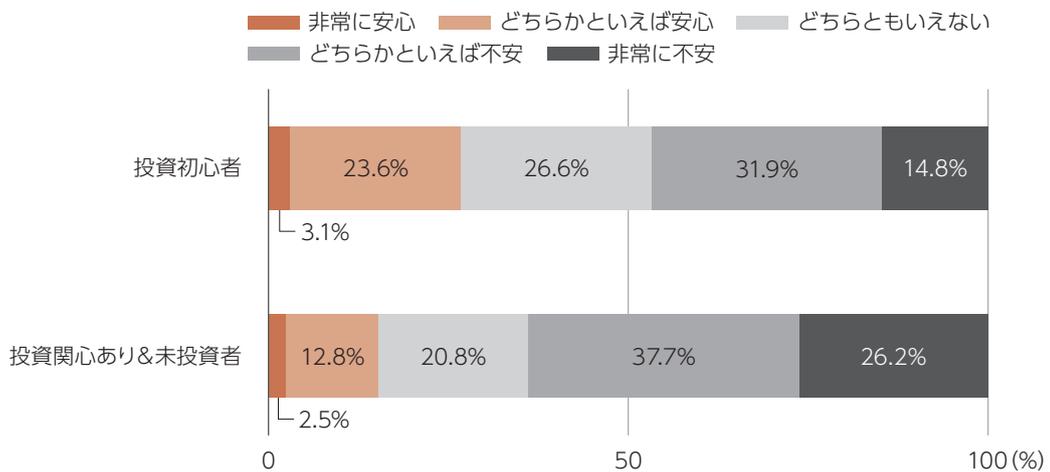
(出所)大和アセットマネジメント

■ ありたい姿のお金の使い方



(出所)大和アセットマネジメント

■ 将来の経済状況安心度



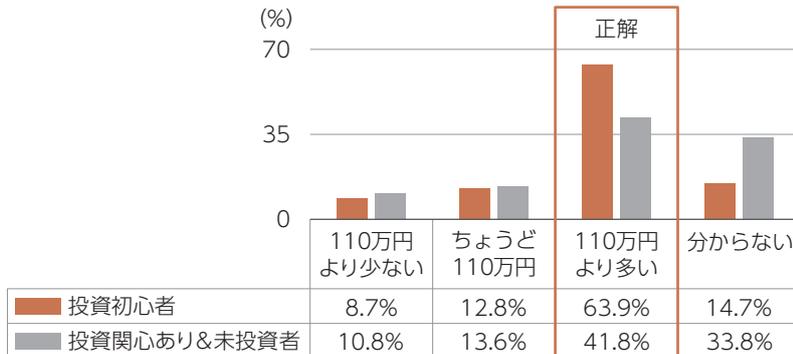
(出所)大和アセットマネジメント

第2節 金融リテラシーと日頃の情報収集実態

金融リテラシー

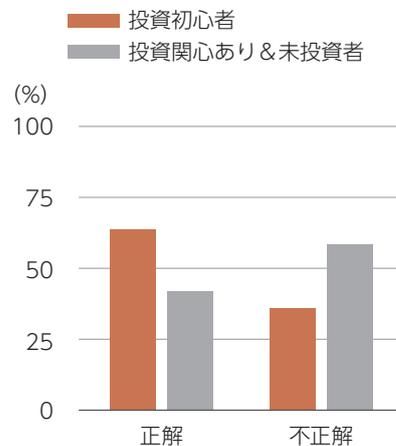
【金融リテラシー】複利計算

Q. 100万円を2% (年率) の単利で運用すると、1年後には102万円になります。100万円を2% (年率) の複利で運用すると、5年後にはいくらになっていると思いますか。



(出所)大和アセットマネジメント

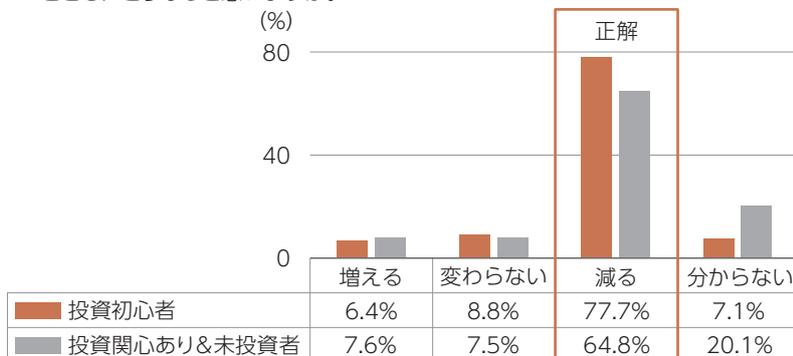
【金融リテラシー】複利計算の正答状況



(出所)大和アセットマネジメント

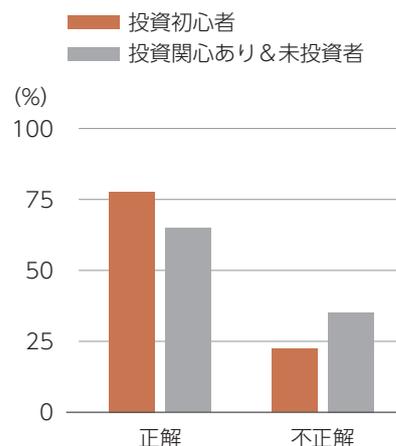
【金融リテラシー】インフレ

Q. インフレとは、モノの値段が継続的に値上がりする状態を指し、実質的なお金の価値が目減りします。インフレになると、1万円で購入できるモノの量は時間の経過とともにどうなると思いますか。



(出所)大和アセットマネジメント

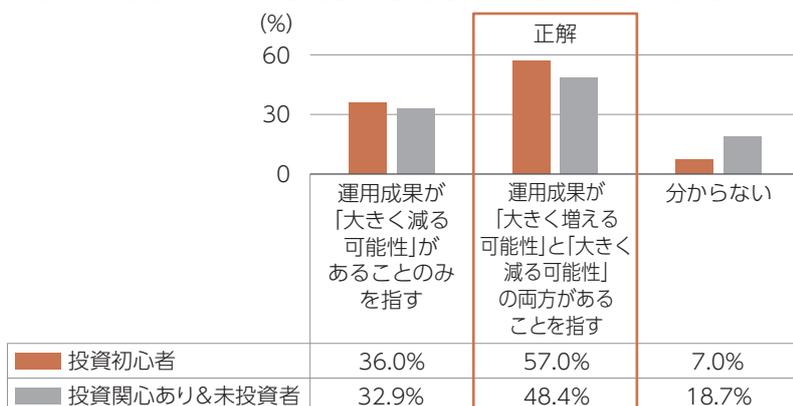
【金融リテラシー】インフレの正答状況



(出所)大和アセットマネジメント

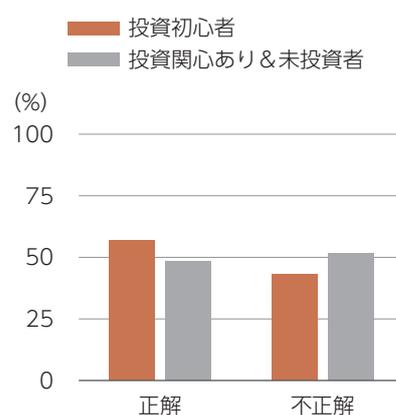
【金融リテラシー】投資におけるリスクの意味

Q. 投資における「リスクが大きい」とは、どのような意味を指すと思いますか。



(出所)大和アセットマネジメント

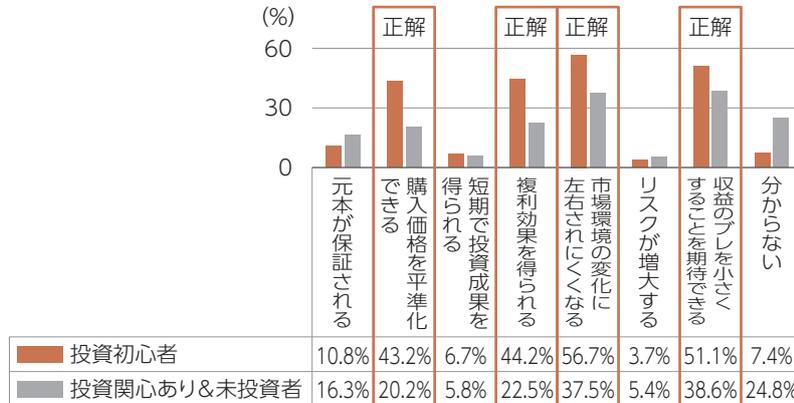
【金融リテラシー】投資におけるリスクの意味の正答状況



(出所)大和アセットマネジメント

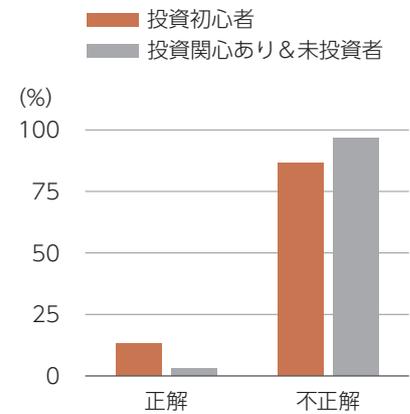
【金融リテラシー】長期・積立・分散

Q. 一般的に、投資で成果を上げるには「長期・積立・分散」投資をした方がよいと言われます。「長期・積立・分散」投資の効果として、あてはまると思うものをすべてお答えください。



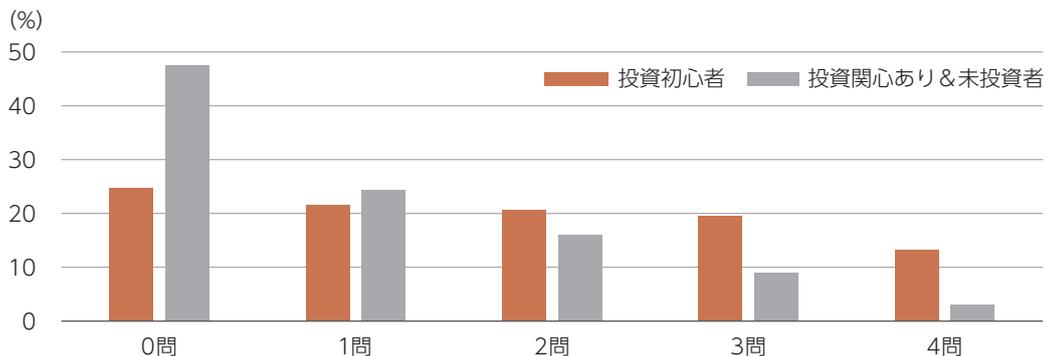
*複数回答可
(出所)大和アセットマネジメント

【金融リテラシー】 長期・積立・分散の正答状況



*不正解を選択せず、正解の選択肢4つをすべて選択した場合のみを正答とカウント
(出所)大和アセットマネジメント

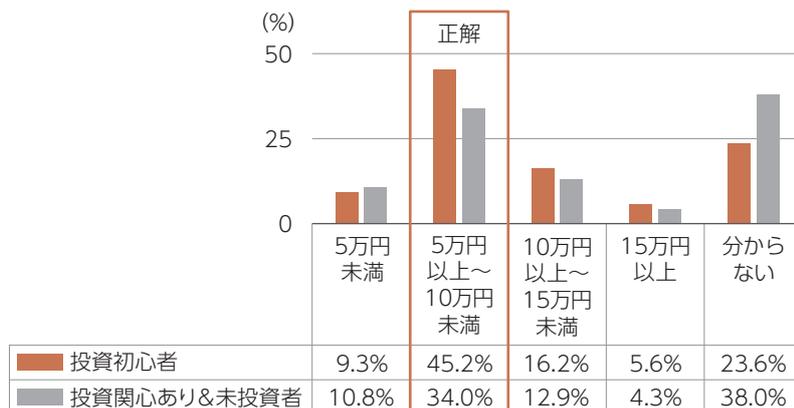
【金融リテラシー】長期・積立・分散の正答数



*4つの正解のうち、何問正解できたか(不正解は選ばない)
(出所)大和アセットマネジメント

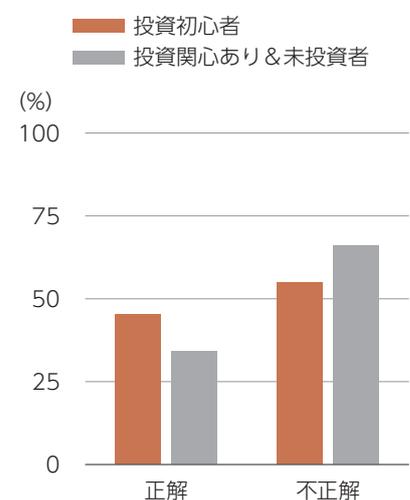
【金融リテラシー】年金の認識

Q. 原則65歳以上は全員、老齢基礎年金(国民年金)が受け取れます。保険料の納付期間である20歳から60歳までの40年間、漏れなく保険料を納付した場合、1カ月当たり何円の老齢基礎年金を受け取れると思いますか。
※会社員などが上乘せとして受け取れる老齢厚生年金は含みません。



(出所)大和アセットマネジメント

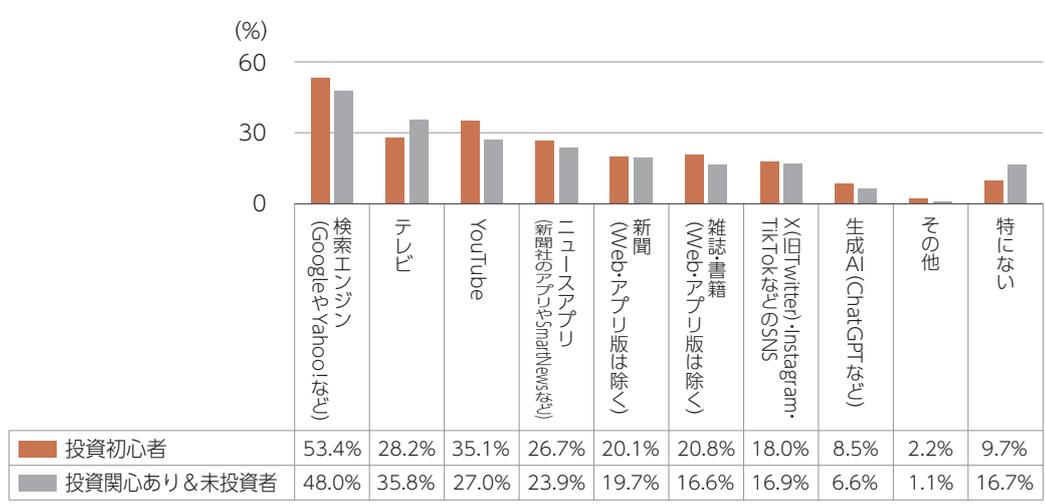
【金融リテラシー】 年金の認識の正答状況



(出所)大和アセットマネジメント

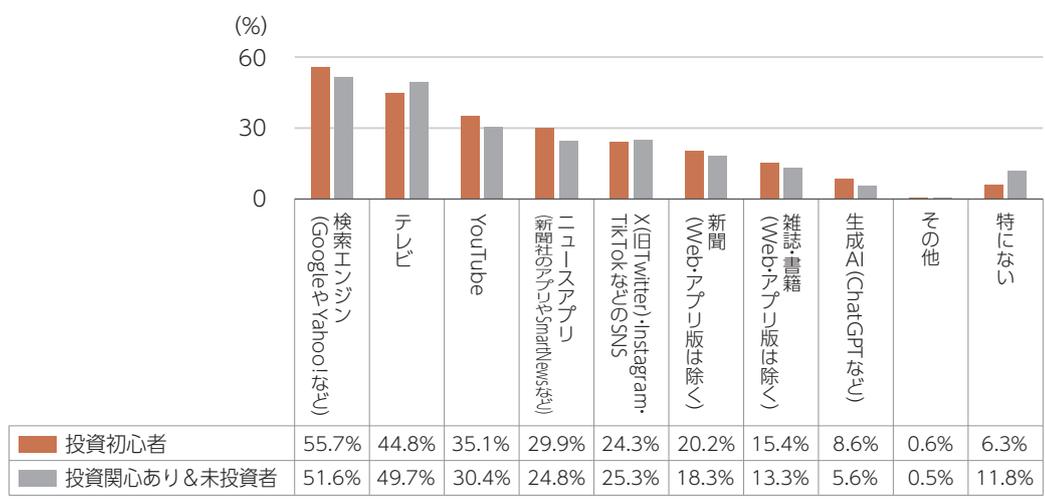
情報収集手段とコミュニケーション人数

投資に関連する情報収集の手段



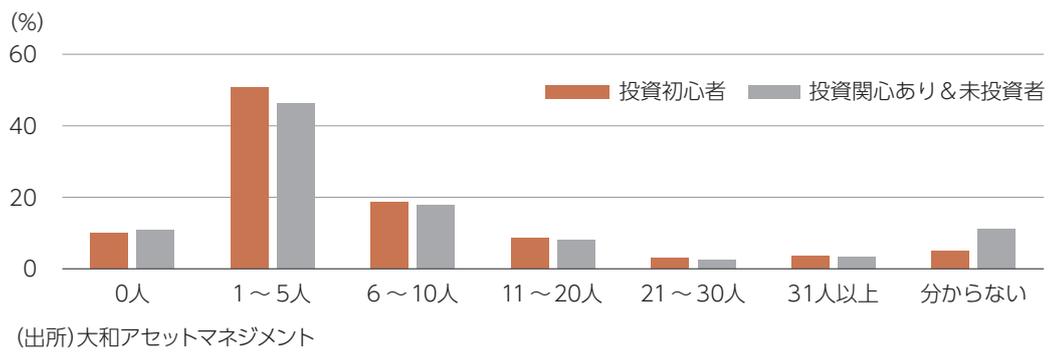
*上位3つまで回答可
(出所) 大和アセットマネジメント

日常生活に関連する情報収集の手段



*上位3つまで回答可
(出所) 大和アセットマネジメント

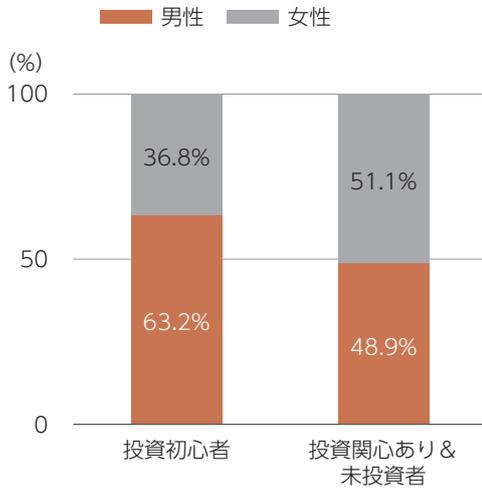
1日当たりの双方向のコミュニケーション平均人数



(出所) 大和アセットマネジメント

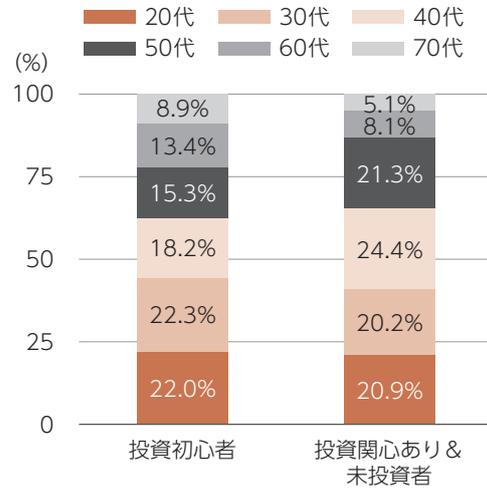
APPENDIX | 属性

性別



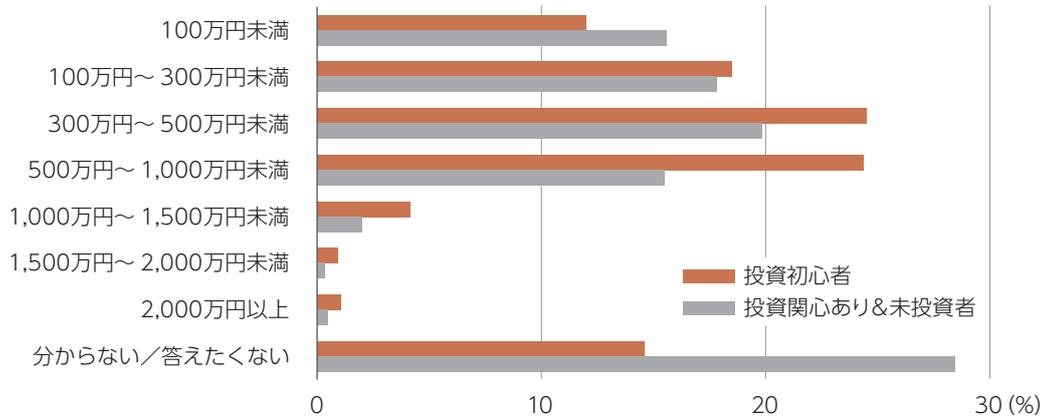
(出所)大和アセットマネジメント

年代



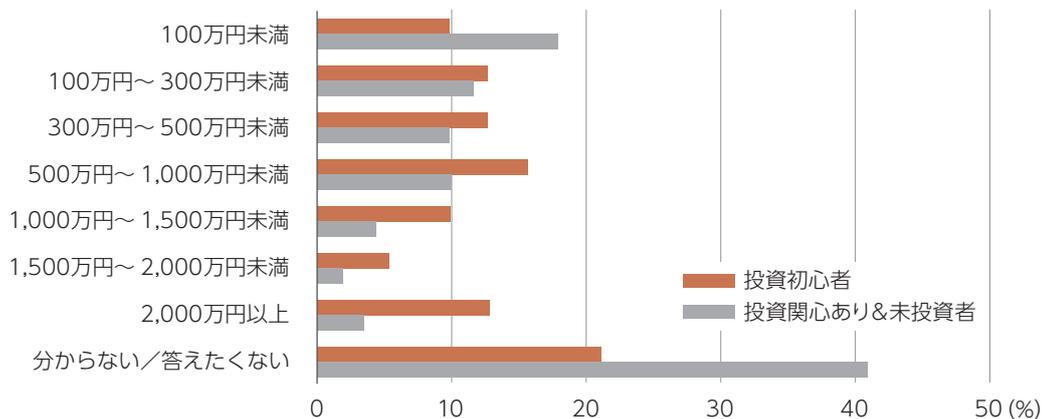
(出所)大和アセットマネジメント

個人年収



(出所)大和アセットマネジメント

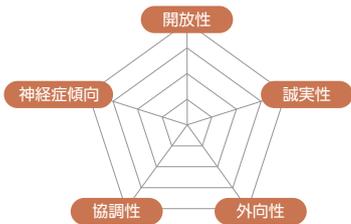
個人の金融資産額



(出所)大和アセットマネジメント

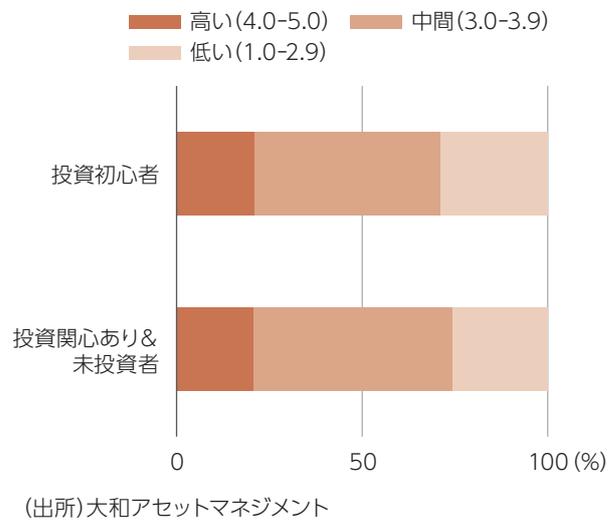
Big Fiveとは

Big Fiveとは、人間が持つ様々な性格は、開放性(Openness)、誠実性(Conscientiousness)、外向性(Extraversion)、協調性(Agreeableness)、神経症傾向(Neuroticism)の5つの因子で説明できるとする心理学の理論のこと。パーソナリティの捉え方は、類型論と特性論の2つがあるが、Big Fiveは特性論の一種。「あなたの○○特性は3、△△特性は1、□□特性は5」など特性ごとにパラメータで表現し、量的な程度の差によって個人差を把握しようとする。

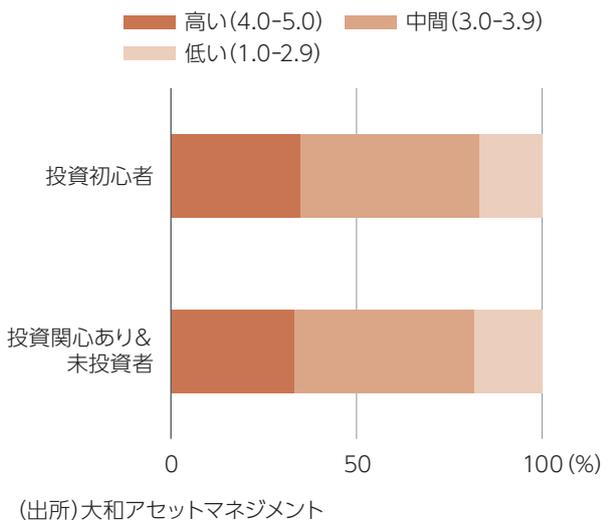


*Big Fiveを測定した設問と選択肢は、レポート編のp.24を参照(出所)大和アセットマネジメント

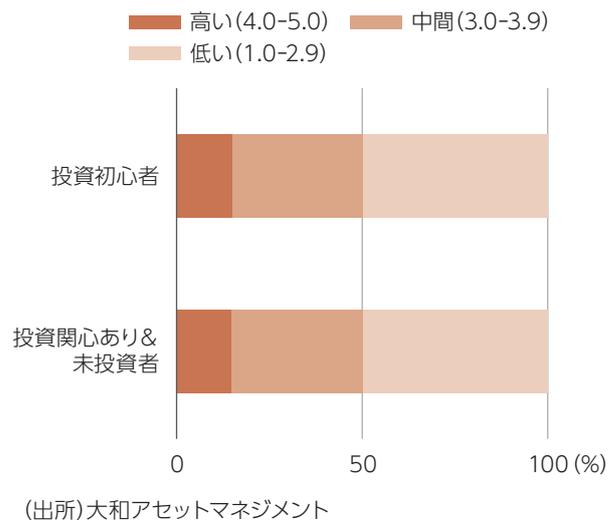
【Big Five】開放性



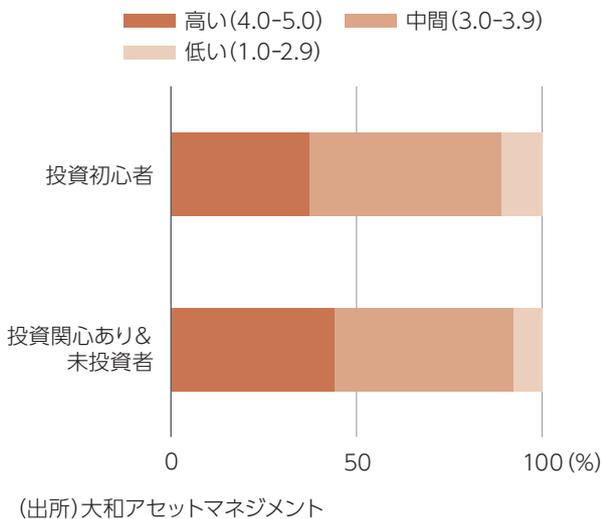
【Big Five】誠実性



【Big Five】外向性



【Big Five】協調性



【Big Five】神経症傾向

